

ステップワールド英語スクール誕生のいきさつ

英語辞書や受験参考書等の出版で知られる「旺文社」の創業者・故赤尾好夫は、「赤尾の豆単」の愛称で永年親しまれてきた英語の単語集を編さんするほどですから、当然かなりの英語力を持っていた。

しかし、ある海外出張先で、「あなたはこれだけ難しい英文が理解でき、洗練された文章も書けるのに、どうしてこんな簡単なことが話せないのですか？」と指摘されてショックを受け、それまでの英語教育に根本的に欠如しているものを痛感しました。

その後熱心に研究開発を進めて「音声重視および早期の英語教育が有用」との結論至り、教材開発やシステムなどの実験を重ねて1973年に生まれたのが、「ステップワールド英語スクール」（旧称「旺文社」L教室）なのです。

当時としては大変先駆的な教育方針でしたが、このコンセプトは社会の潮流がようやく追いつきつつある現在まで脈々と受け継がれ、さらに発展し続けています。